

皆さん、おはようございます。11月2日から本校の入試があったことで、皆さんには2回目の秋休みでしたね。今年も沢山の受験生が都市大小学校を受験してくれました。半年後には新しい一年生が入学してくれます。楽しみにしてください。

11月の初めは、温かな日が続いたこともあり、冬の訪れをあまり感じさせない日が続いていましたが、寒さも本格的になってきて、空気も乾燥しはじめましたから、風邪やインフルエンザ、まだコロナもありますから、体調管理に注意していきましょう。

さて、このところの朝会では、都市大っ子ベーシックに絡めて、他者を認める多様性の話や、「文化の日」や「国連の日」の話で平和について触れました。

都市大っ子ベーシック

素直な心でいよう
挨拶、返事、感謝の気持ち

思いやりをもとう
言葉づかい、公共マナー

ルールをまもろう
時間、身だしなみ、校庭静寂

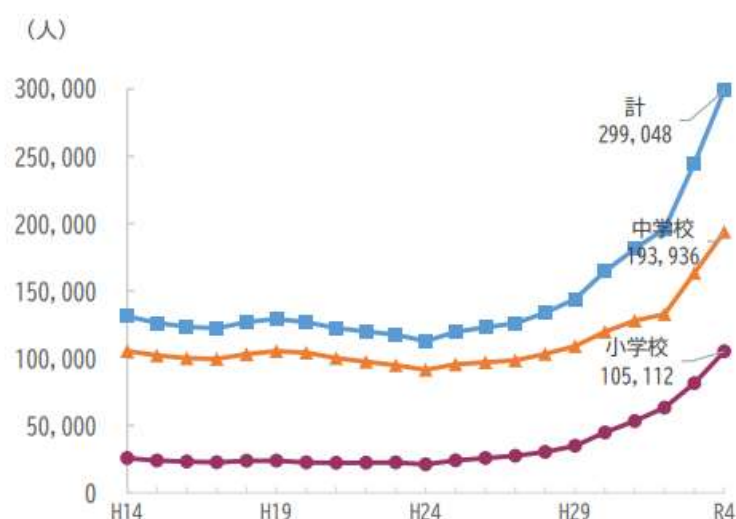
皆さんに理解して欲しいことは、学校生活や社会の生活などのいずれの場合においても、人は周りの多くの人たちと、いろいろな場面で関わり合いを持ちながら生活していくことが大切で、そこではお互いに助け合いながら、協力しながら人間関係を作り上げて行ってほしいということなのです。

何故、今このような話をするのかということですが、今世の中が4年間の不自由なコロナ生活から普通の生活に戻ってきていて、多くの場所、場面で他人に対する思いやりに欠けた行動や、直接的な暴力や、言葉の暴力、人の嫌がる行動などが増えてきてしまっているとの話が伝えられています。

文部科学省による全国調査からの報告によると、不登校の状態にある小中学生は、昨年度およそ29万9000人となり、10年連続で増加して過去最多となったことがわかりました。

「いじめ」と認められる件数や、「暴力行為」も過去最多となっていて、文部科学省は「コロナ禍での生活環境の変化や、行動の制限により友だち作りなどの人間関係の築きにくさなどが背景にある」とみているとのことでした。

不登校児童生徒数の推移



出展 https://www.mext.go.jp/content/20231004-mxt_jidou01-100002753_2.pdf

これは、長かったマスク生活や、制限の多く設けられた環境の中での生活によって、人とのコミュニケーションが上手に取れなくなったり、ついわがままを言ったり、嫌がらせをしたり、言葉が足りないことで、時には暴力などの行動に出るなど

が増えてきたことから、いじめや嫌がらせに遭った子どもが不登校になったりしているということです。

では、皆さんの日頃の学校での行動はどうでしょうか。

都市大っ子ベーシックを実行している人には、このような話は必要ではないかもしれませんが、しかし、今一度、周りを見渡してみても気が付くことがあったりしたら、気を付けていきましょうね。

今から話すことは、人との関わり合いでとても大切なキーワードである「人の痛みがわかる人」になって欲しいということです。皆さんが、これから成長するうえで、立派な人になるためには、この「人の痛みがわかる人」になることが大切なのです。

では、具体的に、いくつか例を上げますので知っててくださいね。

1 「相手の立場になって物事を考えなければいけない」

考え方の違いを受け付けないのではなく、受け入れなければいけない人の痛みを知るには、相手が自分の発言などによってどう思うかが分からなければいけません。

思ったことをそのまま発言しているだけではいけません。

自分と他の人の意見は一致するとは限らないものです。

相手の気持ちをおある程度予想できるなら、自分ばかりの発言や行動は避けられますよね。



2 「自分がされて嫌なことは相手にもしないのが大事」

相手に対して相手が嫌がることを平気で行える人は、人の痛みが分かっています。他人を傷つけてばかりいると、いつか自分も同じことをされることもあるものです。

そこで、人がするのを嫌がる面倒なことを進んでできるような人になり、相手に対して嫌がることをしない優しい心を持ちましょう。

3 「謝ることが出来る人になる」

どんなに人の痛みがわかるようになろうと努力していても、失敗して相手を傷つけてしまうことはあるものです。

もしも失敗したら謝れるようにしましょう。謝ることは非常に大事なことです。謝罪が立派にできる人間こそが人の痛みがわかる人でしょう。

一歩も退かずに謝らない人間は、相手が傷ついたことを理解できていませんよね。



人の痛みを知ることは、沢山の人たちと上手に楽しく生活してく上で、絶対に必要な能力なのです。

相手の価値観や行動を知ること、自分だけの考えではよく判断できなかった相手の気持ちがわかるようになってくる。これが重要なのです。

このところ、多様性の話をしてきましたが、他人の価値を認めるという事は、人の痛みを知ることだと覚えておいてください。

そして、都市大付属小学校の中では、これからもいじめや物が無くなったり、壊されたりなどということが起こらない学校にしていき、みんなで楽しく毎日を送れるように頑張ってくださいね。

最後に、入学試験で沢山の受験生の保護者の方々とお話をしました。その中で、都市大付属小学校を受験校に選ばれた理由に、「本校児童から、バス車内で席を譲ってもらった」バス停でバスを待っていたら、「お先にどうぞとすすめてくれた」などというお話を複数の方から聞きました。それを聞いた私たちはとても嬉しく感じました。これからも人にやさしく接することのできる、都市大っ子でいてくださいね。

